



令和5年4月28日

5月号 No.445

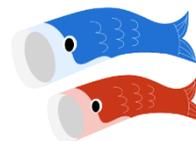
発行責任者

校長 湊 仁

所在地 福生市熊川 623

よく考える子

校長 湊 仁



早いもので、令和5年度もひと月が経ち、5月を迎えます。まもなく大型連休を迎え、ホッとしている子、ワクワクしている子も多いことでしょう。連休中は、事故なく、元気に楽しく過ごしてほしいと思います。

さて先日は、保護者会に多くの方にご参会いただき、誠にありがとうございました。全体会でもお話をさせていただきましたが、本年度は、教育目標の重点を「よく考える子」としました。昨年度までは、「思いやりのある子」を重点とし、人権教育を中心に「相手を思いやり、心情豊かな子の育成」を目指し、挨拶運動や思いやりの木の取組を実践しました。ある一定の成果を残すことが出来たと自負をすることであります。今年度はさらにステップアップを図るために、「よく考える子」を重点とすることにしました。

最近では、街中のお店などの入り口に「マスク着用は、お客様の判断に任せます」という表示をよく目にします。街を歩く人や通勤途中でもマスクを外している人が少しずつ増えてきました。しかし、判断を任せられたときの考え方の基準はなんだろうと疑問が生まれます。子どもたちも「外していいよ」と言われても外せない子が多いです。よく日本人の特性として、自身の価値基準ではなく、周りに合わせるというものがありますが、時として、よく考えていない場合があるものです。普段から、物事に対し、「なぜ」「どうして」「こうしたいから」など自分の考えや根拠をしっかりとって伝えられる人、実行できる人になって欲しいと思います。このように学習面はもちろん、生活面も含め、「よく考える子」を重点とし、自ら考え、判断し、進んで行動できる子どもたちの育成に力を注ぎたいと思います。ぜひ、ご家庭でも、お子さんに考える時間を与えたり、考えを言わせたりする機会をとってあげて欲しいと思います。よろしくお祈りします。

【コロナ5類へ移行について】

さて、5月8日より、コロナは、感染症の分類としては、季節性インフルエンザと同レベルの5類に移行します。毎朝の検温や記録カードの提出は、これで終わります。また、給食では、給食当番の配膳用に使い捨て手袋を用意していましたが、廃止します。引き続きしっかり手洗いをを行うよう指導していきます。

これまで、学校における感染症対策等に対し、継続的に各ご家庭のご理解・ご協力いただいていたことに、心より感謝申し上げます。コロナ感染症の影響は色々ありましたが、教育活動を大きく停滞させることなく進めてくることができました。本当にありがとうございました。

しかしながら、学校内でインフルエンザやコロナなどの流行の兆しがあれば、感染症対策を講じ、必要な措置を行っていきます。状況や傾向などを踏まえ、関係機関と連携し、よく考えて対応していきたいと思っております。